

# UAゼンセン瑞祥会・ルボアユニオン

ユニオンNEWS No. 8 2018年9月

発行責任者；委員長 船川健吾

編集責任者；書記長 一村正也

## 有給休暇について

労働基準法の第39条に年次有給休暇（以下、有給休暇）について記載されています。有給休暇は、労働者の請求する時季（日）に使用者から与えられます。これまで「申請したけど〇〇に断られた」というお声を何度か耳にしました。使用者側は「〇日は忙しいから△日にして」とは言えますが、「忙しいから無理」は言えません。

“お互い様”の精神で有給休暇を取得し、人員不足で疲弊した心身を癒すことを考えてみてはいかがでしょうか。

これまでに数件、組合に対して「無給の休みと処理されたが有給休暇にできないか」とご相談をいただき、各管理者から有給休暇に変更してもらえたケースがあります。ケガや病気で休む際、「有給休暇を取得しないように」と言われたこともあるようです。

組合ができる前を思い出してみてください。今は「言っても無駄、仕方ない」ではありません。これからは各支部（施設）の執行委員にお申し出ください。正すべきこと・交渉することを分ける必要はありますが、お聞きしたことは必ず法人または各施設の管理者へ届けます。

## 互助会について

執行部は毎月定例会を開催しています。これまで組合の説明会や活動報告会を数多く開催しましたが、ほぼ毎回、互助会費の運用の不透明さについての意見が出ています。

そもそも互助会とは（瑞祥会互助会規定にもあるように）職員相互の親睦と融和を目的とするものです。規定には支給の範囲や適用について記載されていますが、いつ、だれが、どのように決めたのかわからない上に、改廃の手続きも記載されていない極めて稚拙なものです。

以前組合員に実施したアンケートでは「支出の内訳を知りたい」「支給対象の拡大」「法人主催の忘年会や共同募金への支出は疑問」他、多くのご意見をいただきました。今回は組合としての意見を伝えるのではなく、法人サイドにみなさまからのご意見をそのまま提出しましたが、4ヶ月以上経ても返答はありません。従業員の思いを伝えても「回答を求める」としなければ何の反応もなく、過去を踏襲するだけの法人では悲しく感じます。

誰かが誰かに忖度しているのでしょうか。ならば、組合員、非組合員問わず、多くの従業員の思いを再度届けませんか？既に意見箱を設置している支部もあります。ご意見がありましたら無記名でも構いませんので投書してください。

## お知らせ

1. 11月25日（日）の夕方に大会（総会）を開催いたします。規約にあるように、各支部20名に1名の代議員制での開催となります。ご意見のある方は大会までに執行部へお伝えください。
2. 土日のみ勤務している組合員の時給に50円の加算がない事案がありました。所属支部の支部長が迅速に対応して無事解決しました。
3. 10月1日に労使協議会を開催し、組合員から挙がっている事案等を伝えてきます。

## ♪♪♪コラム♪♪♪

今号以降、執行部持ち回りで記事を書いたり他社の労組の紹介をしたりします。第1回目は書記長の手記です。

唐突ですが、もし今、目の前に救いを求める人がいたら、あなたは邪念や余念なく、すぐに手を差し伸べられますか？耳を傾け続け、向き合えますか？もしそれができないとしたら、何が原因ですか？やむなくごまかすとしたら、それはごく普通の、当たり前なことなのでしょうか？それともそれは、やはり罪深いことなのでしょうか？

そんなことを考えていると、私たちが居る福祉って世界、そもそも何だろう？そして私たちは一体、何のために、何をやりがいとして、この職業を生業としているのだろうか？…あらためて考えたくくなりました。

「ご利用者・ご家族のために…」 「地域の発展のために…」 「自分の大切な家族のために…」  
「自身の成長や自己実現のために…」 「お金を稼ぐために…」

たぶん、どれも正しい、働くための大切な目的だと思います。その大切な目的（やりがい）を、一緒に考えてくれる同僚や先輩・上司が隣にいたら、その人達は、未来を切り開く力を持てる、とても幸せな人だと思います。ほんの小さな出来事に感動や喜びを得て、勇気づけられてきた、純朴なあの日々は、何かによって曲げられているのかもしれませんが。

人は自分の感情が相手に伝わり、共鳴し合って、お互いの中に感動や希望、喜びが生まれるからこそ、明日に向かって支え合い、生きていけるのだろうか、なんて思います。

甘っちょろいと言われるかもしれませんが、仕事って、やはり「やりがい」無くしては、誇りを持ち続けられないような気がします。その「やりがい」の持続には、個々の力量だけでなく、支え育てようとする会社（組織）の環境や風土があってこそ得られるものだと思うんです。

時がどんどん流れる、虚しい日々はありませんか？小さな感動すらほとんど体験できず、やりがいを見つけられず、毎日決められたことをこなす日々ではありませんか？明日の小さな幸せのために、前に一步踏み出す勇気を持って仲間と一緒に歩みたい…本当は最初はそんな気持ちであったはず、くじけても前に進めるからと頑張れたはず…。

会社（組織）も従業員も、互いが豊かに幸せになるために存在しています。けれど、そのやりがいや幸せの実現のためには、それぞれに考えなければならないこと・変わらなければならないことが、必ずあると思います。そしてそれは、互いに信頼し合おうとし、協働するしか、道は絶対に開きません。あらぬ方向へ進んでしまうことのないように…。

とりとめもなく綴りました。皆様はどのように思いますか。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・組合加入申込書・・・・・・・・・・・・・・・・

氏名		生年月日	年	月	日
住所	〒				
電話番号					
施設名		経験年数	年	ヶ月	
職種		雇用区分	正社員	パート	